

株主のみなさまへ

No. 14
2009年12月

第31期
事業報告書

平成20年10月1日



平成21年9月30日

Special Teaching and Education by Professionals



“子どもを元気にする塾”



CONTENTS／目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	4
STEP by STEP	5
業績の推移	6
損益計算書の要旨	7
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第32期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

1

★ 中学部 ★

★神奈川県公立トップ作戦 着々と進行中!

神奈川県立 旧18学区のうち横浜翠嵐、湘南など12学区で全塾中No.1

★東京学芸大附属高校に31名(うち外進生30名)合格

高校入試合格実績 さらに躍進

★東京学芸大附属高校に31名合格(うち外進生30名) 外部募集枠86名の3分の1以上がステップ生

ステップ生の通学圏内での最難関校、国立東京学芸大学附属高校に、ステップから31名(うち外部進学生30名)が合格しました。学芸大附属高校の外部募集枠は86名ですから、定員の3分の1以上をステップ生が占める躍進をとげました。



国立東京学芸大附属高校の合格発表風景
合格したステップの生徒たち

★神奈川公立トップ校 横浜翠嵐に94名合格 合格者数 全塾中トップ!

★柏陽・横浜サイエンスフロンティアでもトップ!

★公立最難関の湘南高校に174名合格、 定員の約55%がステップからの合格者!

神奈川県の公立高校入試は、2005年度から学区撤廃や自校作成問題による独自入試がスタートし、入試実力勝負の色彩を濃くしています。今春(2009年度)入試では湘南、横浜翠嵐、柏陽、平塚江南、小田原、横須賀高校など10校が独自入試を実施しました。

そのうち県内最難関の横浜翠嵐高校にはステップから94名が合格、再び塾別合格者数をNo.1としました。横浜翠嵐高校は独自入試での入学者が卒業年代となり、東大など難関国立大への進学実績を大きく伸ばし神奈川公立1位の実績となっています。また同じく県内最難関の湘南高校にはステップから174名が合格し、募集人員の約55%をステップ生が占める圧倒的No.1です。さらに柏陽高校に98名合格し、独自入試実施初年度から3年連続して合格者数No.1としています。柏陽高校は理系を中心に国立大等への合格実績を伸ばし、横浜翠嵐・湘南と並ぶ県内屈指の進学校です。さらに名門・厚木高校や横浜の伝統校・希望ヶ丘高校などでも

合格者数No.1を続けています。また今春、横浜の地に開校した、マスコミ等でも話題の横浜サイエンスフロンティア高校にも41名が合格し、初年度から合格者数No.1としました。

公立トップ作戦 進行中

今春入試では、上記の独自入試実施校をはじめ公立高校旧18学区のうち12学区でトップ校塾別合格実績をNo.1としています。

1986年に湘南高校で合格者数トップ(53名合格)として以来、神奈川県各学区のトップ校合格者数No.1を目指す「トップ作戦」を進めてきました。湘南高校には24年間、No.1を継続しているのを始め、1990年には大和高校、さらに1993年に茅ヶ崎北陵高校、1997年に希望ヶ丘高校、2000年に秦野高校、2001年に平塚江南高校、2002年に小田原高校で全塾中No.1としました。また激戦を続けてきた厚木高校で2002年に初の単独トップ、相模原高校も2003年にと、相次いでトップを奪取し、それ以降、追従を許さず全塾中No.1を継続しています。また前述のように横浜翠嵐高校、柏陽高校は独自入試実施を機に、次々に全塾中トップとしました。

2009年春、初めて横須賀地区に3スクールを開校、横須賀高校トップ作戦をスタートしました。また、横浜北部地区にはセンター南スクールを開校、2009年12月～2010年3月に新たに3スクールを開校します。これにより横浜翠嵐高校、および地元の川和高校への合格者数のいっそうの躍進を図ります。



県立横浜翠嵐高校の合格発表風景
合格したステップの生徒たち

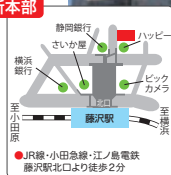
★難関私立・国立受験でHi-STEPも健闘

超難関の東京学芸大学附属高校に31名(外進生30名)が合格したほか、開成高校に9名が合格、慶應・早稲田の付属校に合わせて70名が合格(慶應系39名、早稲田系31名)しました。さらに難関の海城高校にも34名が合格しました。公立高校での躍進とともにHi-STEP各スクールを中心に最難関国立でも健闘しています。

中学部 横浜北部に新スクール3校舎を開校 **本部を藤沢駅前に移転、大学受験藤沢校なども集約** **授業ビデオ配信システム e-STEPを拡充**

★今年度 藤沢駅前に本部を移転

2009年11月下旬、本部を湘南台から藤沢駅北口に建設した本部ビル(地上7階、地下1階)に移転しました。これにより本部機能を強化し、より一層業務の効率化を図ります。また本部ビルには、高校部の藤沢校を移転し、高校部の拡充・躍進をさらに進めていきます。また藤沢中央スクール、フリーステップ藤沢も本部ビルに移転し、それぞれの拡充を図ります。



藤沢駅北口に建つステップ本部ビル

★横浜北部に3スクールを開校 ★辻堂北スクール、Hi-STEP大船を開校

2009年春、中学部は横須賀市に初めて進出、県立大学前・汐入・久里浜の3スクールを一度に開校し、独自入試実施校の横須賀高校合格者数No.1のトップ作戦をスタートしました。今春、センター南スクールを開校した横浜北部地区では12月に北山田スクール、こどもの国スクールを開校し、3月にも、ふれあいの丘スクールを開校します。これにより近接する横浜翠嵐高校および地元の川和高校への合格者数の躍進を図ります。また、交通の要衝・大船にハイステップを開校、ハイステップは15校体制で難関校合格実績のさらなる躍進を目指します。同じく3月に辻堂北スクールを開校し、大規模開発中の辻堂北地区の生徒増に対応します。

★授業ビデオ配信システム e-STEPを拡充

授業映像を社内ネットワーク、及びインターネットを使って塾生対象に配信するシステムを構築し、昨年よりスタートしました。予習や復習、あるいは生徒が欠席した時など、いつでも自宅でその単元を学習できるようになっています。中学部・高校部ともに授業ビデオのコンテンツを日々、拡充しています。



★「STEPパス」を中学部全スクールに設置

生徒の入退室をメールでご家庭にお知らせする「STEPパス」を中学部全スクールに設置しています。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。お知らせ等の臨時メールを一斉にご家庭に送ることも可能です。

★高校部 STEPパスシステムを活用し、生徒とのメールによる連絡網を構築

高校部では各校舎で、STEPパスシステムを活用した生徒へのメール連絡網を設置し、より密なフォロー体制を構築しています。

★高校部 9校舎体制でさらに充実

9校舎体制で現役合格を応援する高校部は、生徒数の増加に対応したシステムの一層の充実を図ってきました。高校部は今春、東大・東工大・一橋等の国公立や私立難関大学などへの合格者数をさらに伸ばしています。

●ブルキナファソへ「栄養失調児センター」への資金援助●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、様々なボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続く、深刻な飢餓が一带をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページ <<http://www.cren.jp/>>

高校受験ステップ

— 高校受験ステップ(中学部) —

1.専任教師制が主軸—充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、リスニング、会話などをネイティブのコーチのもと、レベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.ハイタッチによる生徒指導

— 1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子どもの減少や競争に負けない最強の戦略と考え、スクールやクラスのマンモス化を避けつつ、神奈川県各地に教室の展開を進めています。



freeSTEP

— 個別指導専門校 freeSTEP —

2002年秋に個別指導専門校「free STEP藤沢」を開校、2005年春に平塚にも開校しました。また藤沢校・平塚校を除く高校部各校舎にも個別指導専門のfreeSTEPを設置しています。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりの異なったニーズに対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

大学受験ステップ

— 大学受験ステップ(高校部) —

生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスの他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生のニーズに応えています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的システムで現役合格をバックアップします。



←大学受験ステップ小田原校



本部—各スクール校舎を繋ぐ

— ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働 —

教師1人にパソコン1台 ネットワーク完成

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、約18,000人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手に届くというスピードです。

ワクワク理科実験教室

湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2009年度には6回の理科実験教室、理科実験合宿を開講しました。6月には親子理科実験教室も開催し、親子ともども理科の面白さに触れる試みを行っています。



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)

ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)とは、音楽が大好きな生徒、教師が一体となって盛り上がる音楽祭のこと。ロックバンドやギターの弾き語り、ピアノ演奏、ブラスバンドのアンサンブルなど、演奏するジャンルは違っても「音楽が大好き」という気持ちは同じ。毎年、生徒と教師が一緒になって、熱気あるステージとなります。



高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするためにステップが総力をあけて開催する高校別入試ガイダンス。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底解析し、前期選抜、後期選抜、後期選抜第2次選考合格への合理的作戦などを紹介します。私立ガイダンスも実施しています。



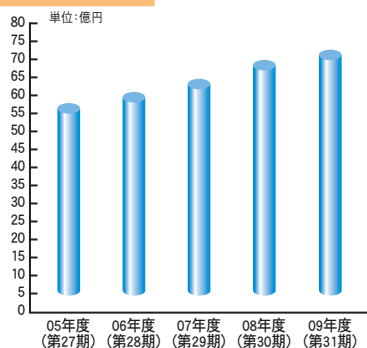
ステップ主催 オープンキャンパス

生徒・保護者対象に、ステップ主催で当該の私立高校で開催しています。日大藤沢高校、東海大相模高校などで実施してきました。高校の先生にご説明していただき、さらにステップの教師が詳しい情報等をお伝えします。

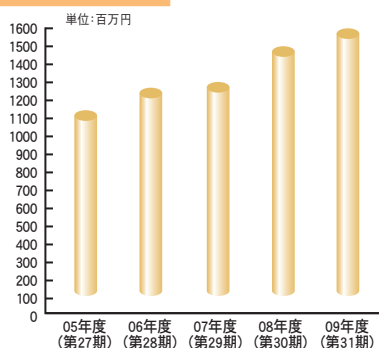


日大藤沢高校でのオープンキャンパスの様子

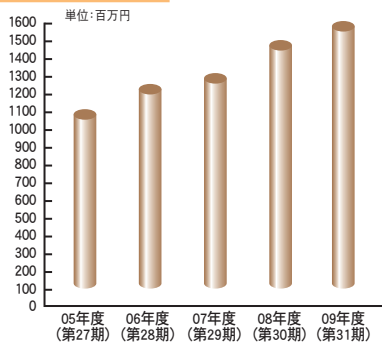
売上高



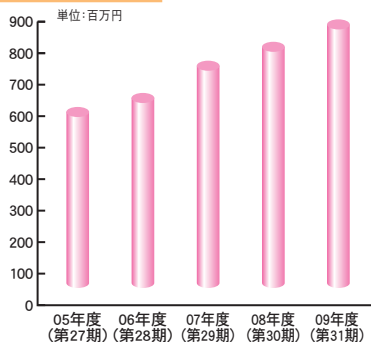
営業利益



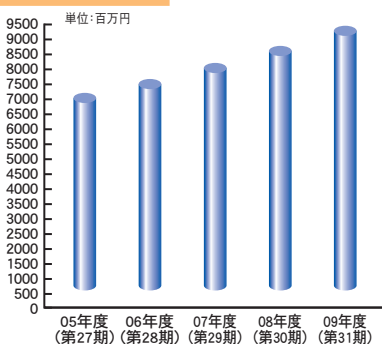
経常利益



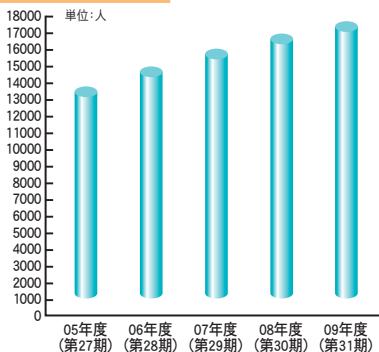
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

当期業績の概要

今春の高校入試におきまして、当社生徒の県内公立トップ高校への合格人数は過去最多の1,515名となり、その比率は当社生徒の県内公立高校合格者中43.1%を占めるなど、昨春に引き続き県内他塾を大きく引き離す実績を残すことができました。これにより、県内公立トップ高校への塾別合格実績におけるNo.1の座を堅持したのはもちろんのこと、トップ高校の中核である「学力向上進学重点校」(自校作成入試問題導入校)での入試結果において抜群の強さを示したことにより、他塾との差別化をさらに推し進めることができました。また当社にとって大きな潜在的マーケットである横浜市において、大学進学実績に優れた伝統高校、人気高校(いずれも自校作成入試問題導入校)への合格人数を大きく伸ばしたことは、当社の入試合格力の認知度を高める結果となっております。また、今春開校し先端的な理科実験設備とスタッフによって話題となった横浜サイエンスフロンティア高校への合格人数におきましても、塾別合格実績のトップとなっております。さらに、当社生徒の通学圏内の高校としては最難関に位置づけられる国立東京学芸大付属高校の入試におきまして、当社生徒が外部進学生としての合格実績を30名(一般中学生枠86名中、昨春実績23名)へと増やすことができました。この結果は当社のブランド力向上に大きなプラスをもたらすものと予想しております。

しかしながら、当社の特徴であり強みは、上記のような合格実績ばかりではなく、当社のバックボーンとなっております「技術と知識をしっかりと身につけたプロの職人としての教師が、常に研鑽を怠らず、生徒の学力向上に真摯に取り組んでいく」基本姿勢にあると考えております。地域の生徒たちの健全な成長を学習面でサポートし、その生徒たちの学力向上を通して社会に貢献する地道な活動を今後も更に深化させてまいりたいと願っております。

また、当社に在籍する生徒が、授業を欠席した時や自宅での復習が必要な時に、インターネットを通して重要単元を自宅でも自由に受講できる授業配信システム(e-STEP)は順調にコンテンツを充実させつつ稼働しております。

なお、新たなスクール展開エリアである横須賀市内におきまして、今春3月、予定通り3スクールの新規開校をいたしました。

現役高校生部門につきましては、中学生が在籍する学習塾としての強みを発揮しながら、教務・運営体制の質的向上を図り、大学入試制度の改変にフレキシブルに対応できる、現役生に特化した予備校としての競争力強化に邁進いたしております。

スクール数につきましては、現状、小中学生部門が90スクール、現役高校生部門は9校、個別指導部門「free STEP」2校の計101校体制となっております。

生徒数に関しましては、小中学生部門、現役高校生部門ともに、学年による差異はあるものの全体としては予想内の推移であり、塾生総数で見た当期中の平均は前年同期比約3.4%増となっております。

以上の結果、当期の売上高は7,131百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は1,570百万円(前年同期比6.1%増)、経常利益は1,581百万円(前年同期比7.2%増)、当期純利益は890百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

なお、当社は経済産業省が後援し、社団法人全国学習塾協会が認定しております学習塾のサービス格付けにおきまして、全国トップレベルの評価で最高ランク(AAA)の格付けを取得しております。また、経済産業省の外郭団体であります財団法人日本情報処理開発協会と社団法人全国学習塾協会が認定するプライバシーマーク使用許諾も得ており、改正特定商取引法をはじめとする消費者保護関連法規に全面的に賛同し、その趣旨の実現に積極的に取り組んでおります。

当社は今後も全社的にコンプライアンス(法令遵守)体制の強化を図ってまいります。

なお、社会貢献活動におきましては、アフリカのブルキナファソの「栄養失調児センター」に対する資金援助を行っております。

損益計算書 (単位: 百万円)

*百万円未満切捨

科 目	前期	当期	増減
売上高	6,786	7,131	345
売上原価	4,719	4,968	248
売上総利益	2,067	2,163	96
販売費及び一般管理費	587	592	5
営業利益	1,479	1,570	90
営業外収益	78	92	13
受取利息	2	1	△0
受取家賃	62	68	5
その他	13	22	9
営業外費用	83	81	△1
支払利息	22	22	△0
賃貸費用	59	58	△0
その他	1	0	△0
経常利益	1,474	1,581	106
特別損失	61	55	△5
固定資産除却損	6	0	△5
投資有価証券評価損	—	12	12
減損損失	55	42	△13
税引前当期純利益	1,413	1,525	112
法人税・住民税及び事業税	618	639	20
法人税等調整額	△30	△4	26
当期純利益	824	890	66

部門別売上高

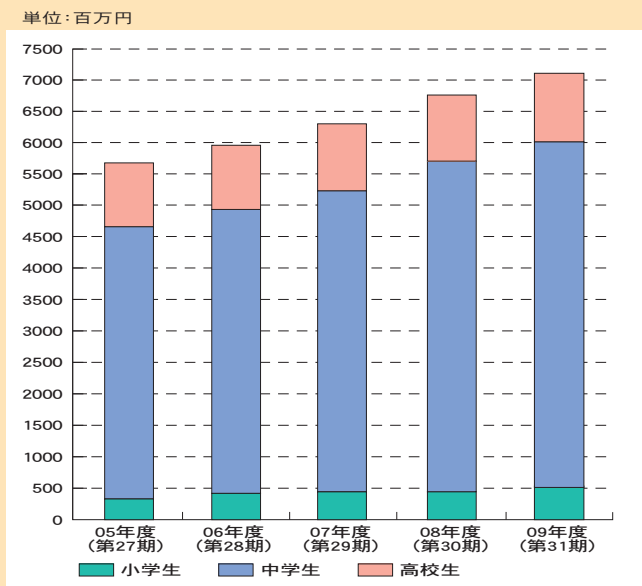
事業部門別の売上高は、次の通りであります。

小中学生部門

小中学生部門は生徒数の増加等により、6,006百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

現役高校生部門

現役高校生部門は生徒数の増加等により、1,125百万円（前年同期比4.5%増）となりました。



部門別売上高明細表

（単位：百万円）

区 分 \ 期 別		前 期		当 期		比較増減
		売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	金額
小中学生部門	小学生	474	7.0	508	7.1	33
	中学生	5,234	77.1	5,498	77.1	263
	小 計	5,709	84.1	6,006	84.2	296
現役高校生部門		1,077	15.9	1,125	15.8	48
合 計		6,786	100.0	7,131	100.0	345

貸借対照表(単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,526	1,263	△263	流動負債	1,443	1,542	99
現金及び預金	1,160	883	△277	一年返済予定の長期借入金	686	722	35
有価証券	147	142	△5	未払金	63	104	41
前払費用	86	87	0	未払法人税等	367	344	△22
その他	132	151	19	その他	325	370	45
貸倒引当金	△0	△1	△0	固定負債	1,182	1,451	269
固定資産	9,740	11,026	1,286	長期借入金	928	1,209	280
有形固定資産	9,073	10,400	1,326	その他	253	242	△11
建物及び構築物	3,117	3,079	△37	負債合計	2,625	2,994	368
土地	5,886	6,515	628				
その他	69	805	736	科目	前期	当期	増減
無形固定資産	48	32	△15	純資産の部			
投資その他の資産	618	593	△24	株主資本	8,652	9,304	651
投資有価証券	15	13	△1	資本金	1,329	1,329	—
差入保証金	429	431	1	資本剰余金	1,402	1,402	—
その他	172	148	△24	資本準備金	1,402	1,402	—
資産合計	11,267	12,290	1,023	利益剰余金	6,009	6,661	652
				利益準備金	137	137	—
				その他利益剰余金	5,872	6,524	652
				別途積立金	97	97	—
				繰越利益剰余金	5,774	6,426	652
				自己株式	△87	△88	△0
				評価・換算差額等	△11	△8	2
				その他有価証券評価差額金	△11	△8	2
				純資産合計	8,641	9,296	654
				負債・純資産合計	11,267	12,290	1,023

株主資本等変動計算書(単位:百万円)

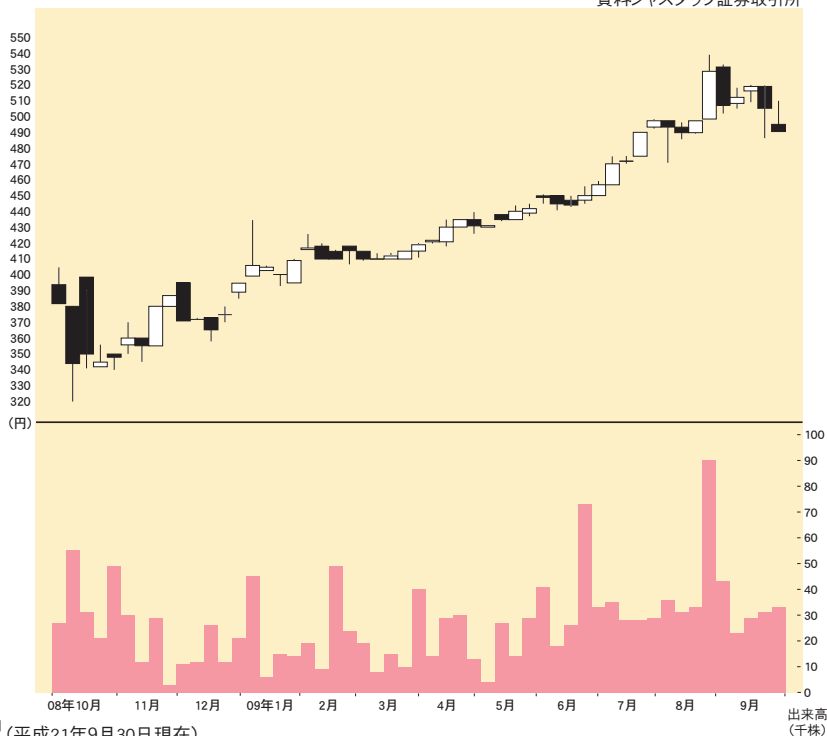
*百万円未満切捨

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金	
前期末残高	1,329	1,402	1,402	137	97	5,774	6,009
当期中の変動額							
剰余金の配当						△238	△238
当期純利益						890	890
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)							
当期中の変動額合計	—	—	—	—	—	652	652
当期末残高	1,329	1,402	1,402	137	97	6,426	6,661

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
前期末残高	△87	8,652	△11	△11	8,641
当期中の変動額					
剰余金の配当		△238			△238
当期純利益		890			890
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)			2	2	2
当期中の変動額合計	△0	651	2	2	654
当期末残高	△88	9,304	△8	△8	9,296

株価推移(週足)

資料ジャスダック証券取引所



株式の状況(平成21年9月30日現在)

発行済株式の総数 15,320,000株

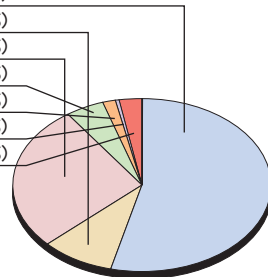
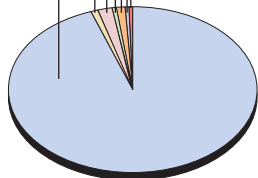
株主数 1,151名

所有者別株式分布

単位:千株

個人・その他	1,105名	(96.00%)
金融機関	8名	(0.70%)
国内法人	22名	(1.91%)
外国人	3名	(0.26%)
証券会社	11名	(0.96%)
保管振替機構名義株式	1名	(0.08%)
自己名義株式	1名	(0.08%)

個人・その他	8,429	(55.02%)
金融機関	1,456	(9.50%)
国内法人	4,244	(27.70%)
外国人	702	(4.58%)
証券会社	87	(0.57%)
保管振替機構名義株式	1	(0.01%)
自己名義株式	401	(2.62%)



来期の見通し

長期的な少子化ないし少子社会にある学習塾業界は、基本的には厳しい環境下にあると言わざるを得ませんが、当社にとりましては開拓すべきニーズ、深耕すべきマーケットは確実に存在すると考えております。また、当期の生徒募集状況はほぼ予想通りの実績に落ち着きましたが、昨今の社会状況を鑑みず、今後の推移につきましては判断を許しません。このような状況に迅速に対応する努力を積み重ね、今後とも適正な業容の拡充に努めてまいります。

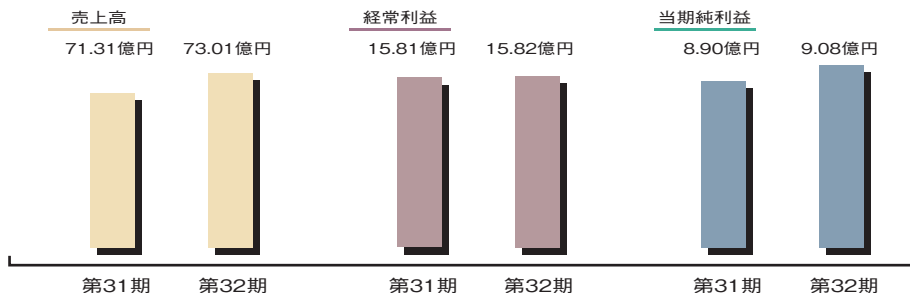
小中学生部門の来期につきましては、神奈川県の入試制度の変更、調整、見直し、公立新設校・改変校の評判評価等の影響を慎重に測りつつ、さらにそれが入試選抜における県内私立高校の公立高校に対する競争力の相対的変化をもたらしつつある等の入試事情全般の変化の波をうまく捉え、他塾を凌駕する当社の教務力を十分に発揮して、より一層の合格実績の伸長、ブランド力の向上を図りたいと考えております。そのため、授業内容のさらなる高品質化とそのための人材育成を生命線として強力に推進する一方、教務上の優位性を有効に活かしながら営業基盤の地域的強化をめざしてまいります。

当社が注力している現役高校生部門は、推薦入試の拡大等による環境変化が進行中ですが、今後とも小中学生部門同様の授業内容の高品質化とそのための人材育成をより一層組織的・継続的に推し進めるため、資金と人材を合理的に投入し、競争力の強化に努めます。

なお、新規開校につきましては、当社ドミナントエリアを中心に小中学生部門5スクール程度を予定いたしております。

また、11月下旬、本部を藤沢駅前に建設した新本部ビルに移転いたしました。これにより、本部機能の合理化・充実を図るとともに、部署移転、同ビル内への近隣スクール併設等による業務の見直し・効率化を進めてまいります。

通期の業績につきましては、売上高7,301百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益1,582百万円(前年同期比0.0%増)、当期純利益908百万円(前年同期比1.9%増)を見込んでおります。



業績予想数値は、平成21年11月4日にジャスダック証券取引所へ提出した決算短信に記載したものです。

当社の経営の基本方針

学習塾を広義での「生徒サポート産業」と考え、「子どもたちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業展開をモットーとしております。当社は、生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することを設立以来の基本理念といたしてまいりました。

これを実現するために、以下の5項目を経営の基本方針としております。

- (1) 学習塾専門に徹し経営資源を集中的に投下する
- (2) 地元神奈川県内へスクールを集中的に展開する
- (3) 学習サービス内容の高品質化と競争力強化を不断に追求する
- (4) 県内公立トップ高校への進学実績No.1及び難関国私立高校への合格実績を一層向上させる
高校受験STEPの質的向上を図る
- (5) 地元現役高校生を対象とした大学受験STEPの発展を推進する

当社は公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきた強みを生かし、入試制度の改革を初めとした公立高校の魅力向上を追い風として積極的に生かし、さらに難関国私立高校への合格実績の向上と合わせて、ブランド化戦略の深化を図っております。

現役高校生部門は、大学入試の実質的な全入化に近い状況の中で、現役高校生の高校生活の充実と大学受験への対応力という二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応が課題となっており、その課題へのチャレンジに全力をふり絞っているところであります。現役高校生部門を今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として発展を図ってまいりたいと考えております。

商 号 株式会社ステップ
証券コード 9795
本 部 〒251-0052 藤沢市藤沢602
TEL 0466-20-8000(代)
事業内容 ■高校受験STEP
小5から中3までの学習・受験指導
■大学受験STEP
高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
ス ク ー ル 神奈川県内 101スクール (平成21年10月現在)
教材研究部 藤沢市湘南台2-1-19
印刷配送センター 藤沢市大庭5681-25-2

COMPANY DATA

創 業 昭和50年1月
設 立 昭和54年9月
資 本 金 13億2905万円
代表取締役社長 龍井郷二
社 員 数 686名(正社員503名、その他183名)
営業地域 神奈川県

株主メモ

決 算 期 9月30日
定 時 株 主 総 会 12月
利 益 配 当 金 9月30日
支 払 株 主 確 定 日
1 単 元 の 株 式 数 1,000株

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepv.co.jp>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
証券代行事務センター(〒168-0063)
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社にお申出がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

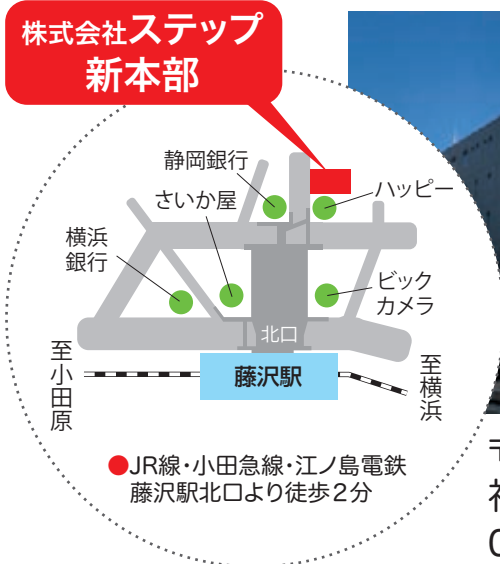
(お知らせ)

特別口座に関する住所変更、単元未満株式買取請求、振替申請および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル
0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
●ホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **STEP** 株主通信

株式会社ステップ
新本部



〒251-0052
神奈川県藤沢市藤沢602
0466-20-8000（代）